



ほんじょう



平成23年11月15日発行

だより

No.24



## みんな一丸となって、パワー全開!!

### おもな内容

|                                    | ページ |
|------------------------------------|-----|
| ○ 第3回定例会（9月定例会）の概要、おもな案件、請願の審査結果ほか | 2   |
| ○ 委員会のうごき、提出議案等とその結果               | 3   |
| ○ 市政に対する一般質問                       | 4～9 |
| ○ その他の一般質問（質問項目のみ）                 | 9   |
| ○ 議員提出議案、12月定例会の予定等                | 10  |

### 平成23年第3回定例会

#### 9月5日 本会議

- ▼ 会議録署名議員の指名
- ▼ 会期の決定、諸報告
- ▼ 市長提出議案の上程、説明

#### 9月6日 本会議

- ▼ 請願の常任委員会付託
- ▼ 議案質疑・一部議案の即決
- ▼ 議案の常任委員会付託

#### 9月8日 常任委員会

- ▼ 総務常任委員会
- ▼ 建設産業常任委員会

#### 9月9日 常任委員会

- ▼ 厚生文教常任委員会

#### 9月12日 特別委員会

- ▼ 17号バイパス及び幹線道路整備  
対策特別委員会

#### 9月13日 特別委員会

- ▼ 議会基本条例等調査特別委員会

#### 9月16日・20日 本会議

- ▼ 一般質問

#### 9月26日 本会議

- ▼ 特別・常任委員長報告、採決
- ▼ 請願の常任委員長報告、採決
- ▼ 市長提出追加議案の上程、説明
- ▼ 監査報告
- ▼ 追加議案に対する質疑
- ▼ 追加議案の常任委員会付託
- ▼ 議員提出議案の上程、採決
- ▼ 埼玉県後期高齢者医療広域連合  
議員の選挙
- ▼ 議員派遣の件
- ▼ 閉会中の継続審査

# 9月定例会

## 本庄市都市計画税条例の

一部を改正する条例など

## 29議案を審議



平成23年第3回定例会（9月定例会）を、9月5日（月）から9月26日（月）までの22日間の会期で開催しました。

今定例会には、初日に市長から条例の一部改正、専決処分の承認、補正予算など17議案が提出され、最終日に決算認定の11議案と議員から1議案の提出がありました。

慎重審議の結果、決算認定の11議案を閉会中の継続審査とし、それ以外の18議案を原案のとおり可決・承認しました。また、市長から2件の報告案件がありました。

## おもな案件

### ◇本庄市都市計画税条例の一部を改正する条例

児玉地域の一部を新たに都市計画税の賦課区域とするため、所要の改正を行うものです。

### ◇財産の取得について

CD-1型消防ポンプ自動車等（詳細は左記）を取得するため、議会の議決を求めるものです。  
財産の種類

・CD-1型消防ポンプ自動車 1台

・小型動力消防ポンプ付普通積載車 1台

契約の相手方

・埼玉消防機械株式会社

### ◇平成23年度一般会計補正予算（第2号）

市民プラザ跡地公共施設及び児玉総合支所建設事業の設計業務委託の予算など、歳入歳出それぞれ2億323万7千円を追加し、歳入歳出予算総額を254億566万2千円とするものです。

### ◇平成22年度一般・特別・企業会計歳入歳出決算認定について

### 請願の審査結果

地方自治法及び地方公営企業法の規定により、各決算を議会の認定に付するものです。一般会計の歳入決算額は280億5787万4272円で前年度比1・6%の増。歳出決算額は258億7556万5980円で前年度比0・4%の増です。

9月定例会では、請願4件を慎重審査しました。その結果は次のとおりです。

#### 〈採択〉

▽米国による三度の未臨界核実験に抗議する決議を求める請願書

提出者 原水爆禁止本庄市協議会

代表 北村 晴夫

#### 〈趣旨採択〉

▽義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書

提出者 埼玉県教職員組合児玉支部

代表者 笠原 邦夫

〈不採択〉

▽「非核三原則」の法制化を求める意見書の提出を求める請願書

提出者 埼玉県原爆被害者協議会（しらさぎ会）

会長 田中熙巳他4人

※誌面の都合上、提出者1名のみを掲載

▽児玉地域の都市計画税の課税に反対し、本庄市の税率の引き下げを求める請願書

提出者 本庄民主商工会  
会長 金澤利行

埼玉土建一般労働組合  
本庄支部  
支部長 飯野 茂  
他123筆

総務常任委員会

◇総務常任委員会◇

9月8日に開催し、第46号議案「本庄市都市計画税条例の一部を改正する条例」など議案4件及び請願3件を審査しました。

◇建設産業常任委員会◇

9月8日に開催し、第50号議案「市道路線の廃止」、第51号議案「市道路線の認定」など議案6件を審査しました。

◇厚生文教常任委員会◇

9月9日に開催し、第56号議案「平成23年度本庄市一般会計補正予算（第2号）所管部門」など議案5件及び請願1件を審査しました。

◇17号バイパス及び幹線道路整備対策特別委員会◇

9月12日に開催し、民主党県連本部へ要望書による「国道17号バイパス（本庄道路）の早期整備について」の要望活動、国土交通省関東地方整備局並びに埼玉県へ表敬訪問を行いました。

◇議会基本条例等調査特別委員会◇

9月13日に開催し、調査事項として、「議会基本条例の基本構成（詳細項目）の検討結果について」及び「議会基本条例前文の検討について」を議題とし、基礎調査的な作業から具体的な策定作業へと進み、調査・研究を行いました。



委員会室

この部屋で、各種委員会の審議を行っています。委員会傍聴も受付けていますので、ご希望の方は事務局までお問い合わせください。（各委員会に傍聴者は、3名までです。）

# 平成23年第3回定例会 提出議案等とその結果

|        | 議案番号等    | 件 名                                              | 付託委員会 | 議決の状況 | 議決の内容 |
|--------|----------|--------------------------------------------------|-------|-------|-------|
| 市長提出議案 | 第45号議案   | 本庄市税条例の一部を改正する条例                                 | 総務    | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第46号議案   | 本庄市都市計画税条例の一部を改正する条例                             | 総務    | 原案可決  | 賛成多数  |
|        | 第47号議案   | 本庄市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例                     | 厚生文教  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第48号議案   | 本庄市介護保険条例の一部を改正する条例                              | 厚生文教  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第49号議案   | 財産の取得について                                        | 総務    | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第50号議案   | 市道路線の廃止について                                      | 建設産業  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第51号議案   | 市道路線の認定について                                      | 建設産業  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第52号議案   | 専決処分の承認を求めることについて                                | —     | 原案承認  | 賛成多数  |
|        | 第53号議案   | 専決処分の承認を求めることについて                                | —     | 原案承認  | 全会一致  |
|        | 第54号議案   | 埼玉県都市競艇組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約変更及び財産処分について     | —     | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第55号議案   | 埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、同組合の規約の変更及び財産処分について | —     | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第56号議案   | 平成23年度本庄市一般会計補正予算（第2号）                           | 各委員会  | 原案可決  | 賛成多数  |
|        | 第57号議案   | 平成23年度本庄市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）                     | 厚生文教  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第58号議案   | 平成23年度本庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）                    | 建設産業  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第59号議案   | 平成23年度本庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）                   | 建設産業  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第60号議案   | 平成23年度本庄市介護保険特別会計補正予算（第1号）                       | 厚生文教  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第61号議案   | 平成23年度本庄市水道事業会計補正予算（第1号）                         | 建設産業  | 原案可決  | 全会一致  |
|        | 第62号追加議案 | 平成22年度本庄市一般会計歳入歳出決算認定について                        | 各委員会  | 継続審査  | —     |
|        | 第63号追加議案 | 平成22年度本庄市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について                  | 厚生文教  | 継続審査  | —     |
|        | 第64号追加議案 | 平成22年度本庄市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について                 | 建設産業  | 継続審査  | —     |
|        | 第65号追加議案 | 平成22年度本庄市住宅資金貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について                | 総務    | 継続審査  | —     |
|        | 第66号追加議案 | 平成22年度本庄市老人保健特別会計歳入歳出決算認定について                    | 厚生文教  | 継続審査  | —     |
|        | 第67号追加議案 | 平成22年度本庄都市計画事業小島西土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について       | 建設産業  | 継続審査  | —     |
|        | 第68号追加議案 | 平成22年度児玉都市計画事業児玉南土地地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定について       | 建設産業  | 継続審査  | —     |
|        | 第69号追加議案 | 平成22年度本庄市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定について                | 建設産業  | 継続審査  | —     |
|        | 第70号追加議案 | 平成22年度本庄市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について                    | 厚生文教  | 継続審査  | —     |
|        | 第71号追加議案 | 平成22年度本庄市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について                 | 厚生文教  | 継続審査  | —     |
|        | 第72号追加議案 | 平成22年度本庄市水道事業会計決算認定について                          | 建設産業  | 継続審査  | —     |
| 議員提案   | 議第6号議案   | 米国政府に対し三度の未臨界核実験に抗議するとともに今後行わないことを求める決議          | —     | 原案可決  | 全会一致  |
| 市長報告   | 報告第11号   | 専決処分（専決第6号）の報告について                               |       |       |       |
|        | 報告第12号   | 平成22年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について                   |       |       |       |

# ここがポイント！

## そこが聞きたい！！



一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたたり、報告を求めたりするもので、定例会ごとに行われます。

今定例会では13名の議員が質問を行いました。

その中から主なものの要旨を掲載いたします。なお、本文中の「見出し」及び「問」は、質問者自身が責任をもって作成したものです。

詳しい内容については、会議録(11月下旬発行予定)を図書館、各公民館及び市のホームページで閲覧することができます。また、一般質問の録画中継は市のホームページでご覧いただけます。



本庄市総合防災訓練

**問** 東日本大震災において、避難所で相次いだ女性の人權に関わる様々な問題は既存の災害・防災対策に女性の視点が欠けていることを見せつけました。女性は地域のことをよく知り、具体的な経験を通じて、子どもや高齢者、生活者の視点を持っています。

**答** 「女性の視点からの防災計画の見直し」について、でございますが、東日本大震災におきましては、議員ご指摘のとおり、避難所におけるプライバシーや子育てや安全面等様々な女性にかかわる問題が生じました。これらを踏まえ、女性が安心して避難生活を過ごせるような運営体制等が全国的に求められているところでございます。

避難所は、不特定多数の避難者が一時的に共同生活を送る場所であるとはいえ、自宅とは異なる様々な制約があります。しかしながら、緊急的な避難所

### 減災社会の構築に

#### 女性の視点を！

公明党代表 中原 則雄

とはいえ、最低限の生活上の安全・安心は確保されるべきと認識しております。

### 本庄市民文化会館と児玉文化会館との運用面での摺り合わせについて

市議団 大地代表 高橋 和美

**問**

文化会館の目的が両者とも同じであるのに、使用料が本庄市民文化会館が市の主催事業に限って免除になるのに対し、児玉文化会館では児玉郡市や深谷市内の公立学校・幼稚園・保育園までも免除の対象としている。

**答** 本庄市民文化会館と児玉文化会館との施設管理運営の摺り合わせについてご説明いたします。

また、その他の公益団体も減免措置となっている。



本庄市民文化会館

条例」で、利用者は使用料を納めることとなっていますが、市長は例外的に公用または、公益を目標とする事業として利用する場合、必要があると認められるときは使用料を減額し、または免除することができるという規定がございます。この規定に基づき、市の主催事業や公益を目的とする利用者については減免規定が適用されていたことから、平成18年9月の指定管理者制度導入の際に従来からの減免利用者については引き続き適用することになりました。

児玉文化会館につきましては「本庄市児玉文化会館の設置及び管理に関する条例」及び規則に基づき、現在も市が直接管理運営を行っており、使用料については、この条例及び規則の規定により納めることとなっています。ただし、児玉文化会館の規則は

本庄市民文化会館の規則と異なっており、減免対象となる利用者や減免率が明確かつ詳細に規定されており、合併後も引き続きこの規定により運用して参りました。

このことから、現在、同じ市内の文化会館としての使用料が減免対象の相違により、利用者にとり

## 本庄市の交通安全対策の

### 取り組みについて

平政クラブ代表 林 富司

#### 問

本庄市・警察署それぞれ立場で、交通事故防止対策に取り組んでおります。

安全で安心して暮らす社会を築く為には地域社会との連携も大きな役割を果たしております。

そこで信号灯等の改善についての考えをお伺いいたします。

国道・県道ですでに信号灯も「LED」発光ダイオードに改善

され、歩行者用信号機も整っておりますが、交通安全対策の一環として、信号灯の改善及び歩行者用信号機の設置について、市としての考え方を伺いたします。

#### 答

本庄市交通安全対策の取り組みにつきましては、今後5年間の交通安全の基本となる「第9次本庄市交通安全計画」を策定いたします。

これは交通安全対策基本法に基づいて、市が定めるもので、計画

ましては不公平な制度となっております。

今後は「児玉文化会館の指定管理者」導入の検討と併せて、使用料や減免規定につきましても、公平で適正なものに統一して参りたいと考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

#### 問

過去に県管理の小山川、女堀川等の河川の川底を低くしていたが要望や国管理の利根川の川底を低くして水はけを良くすることにより、上流部等の水をより少なくする方法の要望を行ってきたのでしょうか。

今後、早急に県・国に対して堆積物の除去等を行い、川底を低くし、上流部及び市街地等の水を少しでも減らすことが出来るよう市長が先頭に立って強く申し入れを行って頂きたいと思いますが、市長の考えをお伺いいたします。

#### 答

今回の台風12号による大雨における8月31日からの総雨量でございますが、雨量観測地点の児玉町河内では9月4日午前7時に406ミリメートルの雨量を記録するなど、経験のない降雨量であったことから、市内のいたる所で道路の冠水や、河川の越流がおき災害の発生となりました。このため市では土のう6900袋

信号灯のLED化につきまして、本庄警察署に確認したところ、「現在、県内の信号機については、順次LED化を実施している。」とのことでございます。

また、信号機が見づらく、その

## 本庄市の防災について

### (水害に対しての対応について)

政友倶楽部代表 小林 猛

を配置するなど、対応を図った所でございます。

今後の対策といたしましては、市の雨水計画に基づいて、既存雨水排水ルートの再調査を行った上で、排水施設の容量不足による、道路冠水等の軽減を図るため、排水経路を分散化させることや、河川への流入負担を軽減するため、地下浸透や貯留させることなどによる、雨水流出抑制を総合的に検討して参りたいと存じます。

しかし、市内の水路等について改修しても国及び県が管理する河川の改修が進まないと、難しい面がございます。

女堀川の改修につきましては、下流より整備をしておりますが、現在は、いまい台産業団地南側付近を上流に向かって改修しております。

今後の整備につきましては、兩岸60メートル位を毎年工事していく予定と、本庄県土整備事務所よ

り聞いております。  
国の管理する利根川につきま  
しては、埼玉県をとおして要望し  
て参りたいと存じます。

## 不登校の対応について

### (ふれあい教室について)

市議団未来代表 堀口伊代子

## 問

近年子ども達の社会性を  
めぐる問題など、不登校に  
なる原因も多様化・複雑化してき  
ていと言われています。教育委  
員会としてどの様な対応を行っ  
ているのでしょうか。また、学校へ  
の出席扱いとなる「ふれあい教室」  
についてですが、一人でも多くの  
不登校になってしまった児童生徒  
の皆さんに、新しいかけがえのな  
い場所として通っていただけたら  
と思います。ふれあい教室にて、  
子どもが作る「弁当の日」を取り  
入れては、いかがでしょうか。

## 答

不登校児童生徒への対応  
についてご説明いたします。

現在、学校では定期的に児童生  
徒一人ひとりの状況や対応策を協  
議し学校全体で支援をしています。

また、児童生徒の心の悩みなど  
の解決のため、アンケートを実施  
し実態を把握すると共に、市内中  
学校に随時相談できる「さわやか  
相談室」を設置し、保護者に対し  
ては教育相談などを定期的に実施  
するなど、子どもたちが安心して

こうしたことから、「利根川治  
水同盟総会」及び「利根川治水同  
盟治水大会」等にも参加をしてお  
ります。

学校へ通えるように力を注いでお  
ります。

登校はできるものの、自分の教  
室へ入ることが出来ない児童生徒  
に対しては、保健室や相談室など  
への登校を促し個別の指導を行  
いながら、教室への復帰を目指して  
取り組んでおります。

また、登校することができない  
児童生徒のために、学校以外の場



体をうごかし、元気いっぱい (本庄市老人・身体障害者合同スポーツ大会)

## 来年度からの第5期 介護保険制度の改正にあたって

日本共産党代表 柿沼綾子

## 問

来年度から創設される日  
常生活支援総合事業では、  
事業費の上限が3%と決められて  
いるので、要支援者が介護給付か  
らはずされ有償サービスに置き換  
えられる危険があるが、どうなる  
のか。

総合事業の実施は市の判断なの  
で、実施しないようにしてもらい  
たいがどうか。

国の試算では保険料は月額50  
00円(平均)になるようだが、  
本庄市ではどうなのか。

生活が苦しい中、値上げは避け  
てもらいたいがどうなるのか伺  
いたい。

## 答

日常生活支援事業対象者  
の判断は、市町村・地域包  
括支援センターに於いて、本人の  
意向を最大限尊重しつつ、利用者

確立のための指導、教科等の学習  
や運動を組織的、計画的に行って  
おります。

この取り組みにより平成22年度  
末には、ほぼ全員が進学や学校復  
帰を果たす事ができました。

次に、ふれあい教室に「弁当の  
日」を取り入れては、ということ  
であります。ふれあい教室では、  
全員が弁当持参で来ております。

てご説明いたします。

介護保険料は、各市町村が3年  
ごとの事業計画の策定時に推計す  
る給付量により決定いたします。

第4期の介護保険料の全国平均  
基準額は4160円ですが、高齢  
化の進展等から大幅な上昇が見込  
まれます。よって、第5期の介護  
保険料は5000円を超える見込  
みと推計されております。

本市の第4期の介護保険料の平  
均基準額は、3550円で県内平  
均基準額3722円よりも低く設  
定されております。

国からは、第5期保険料増加の  
緩和策として、各都道府県に設置  
されている財政安定化基金の取崩  
し、各市町村の介護給付準備基金  
の取崩し、また、負担能力にに応じ  
た、きめ細かい保険料負担の設定  
が示されております。

このようなことを加味すると  
もに、第5期の給付量を的確に見  
込み、保険料の算定を行って参り  
たいと存じます。

## 秋祭り開催場

### 『市民プラザ跡地』について

富田雅寿 (市議団 大地)

## 問

総合振興計画や本市公式  
ホームページにお祭り広場  
として掲載されている市民プラザ  
ですが、取り壊しがやっと始まり

ましたが、本年秋祭りの山車競演  
が出来る状態になるのでしょうか。  
また、今後もある場所が、お祭  
り広場という観点でよいのでしょ

うか。また、南側の2階建物・西側の物置・東側の駐輪場等は解体せずに、今後も利用していくのでしょうか。お伺いいたします。

## 答

市民プラザの建物につきましては、東日本大震災の影響を受けたことにより、使用を禁止し、現在、解体工事中であり、11月2日・3日の本庄まつりには、お祭り広場として利用可能になりません。

現在、市民プラザ跡地には複合施設の建設を予定しておりますが、建替えのコンセプトに『世代を超えて多くの人が集い、交流する誰もが利用しやすい複合型施設を市街地の中心部である市民プラザ跡地に整備し、加えて本庄まつり等各種イベントの会場にも対応できる広場を整備することで、行政サービスの向上と地域の発展及び活性化を図ること』を掲げ検討を行っております。

次に、市民プラザ跡地に残って



市民プラザ解体の様子

いる建物や駐輪場についてご説明いたします。南側の2階建ての建物につきましては、書類の保管庫や災害時の毛布等の備蓄庫として利用しており、また、西側の建物は備品倉庫として利用しております。これらの倉庫等も老朽化していることから、新しい施設の建設

## 太駄地区の産廃施設と 環境汚染防止について

鈴木常夫（日本共産党）

## 問

昨年、県に太駄地区への産廃処理業の許可申請が提出され審査中だが、11年前、今回の申請と同じ場所、この業者の前身の業者による肥料製造工場の操業直後から耐えがたい悪臭と施設近辺の井戸水、沢の水の汚染環境基準の1200倍）が発生し、裁判となった。あのような環境汚染は二度と起こしてはならない。

市は当時の環境汚染をどのように認識し、この問題にどのような態度で臨むのか。施設建設差し止めの訴訟を起こすべきではないか。

## 答

埼玉県に対し、太駄地区を事業地とする産業廃棄物処分業の許可申請を行っているのは、株式会社本庄エコステーションという会社であります。

この許可申請は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいたものでございまして、平成22

年に伴い、敷地全体を有効に活用する観点からも、駐輪場やフェンス等も含め、全てを解体撤去する予定であります。新しい施設は、アクセスの良さや出入りの安全性を考慮し、駐車場や駐輪場の配置や動線について検討して参りたいと考えております。

昨年、県に太駄地区への産廃処理業の許可申請が提出され審査中だが、11年前、今回の申請と同じ場所、この業者の前身の業者による肥料製造工場の操業直後から耐えがたい悪臭と施設近辺の井戸水、沢の水の汚染環境基準の1200倍）が発生し、裁判となった。あのような環境汚染は二度と起こしてはならない。

市は当時の環境汚染をどのように認識し、この問題にどのような態度で臨むのか。施設建設差し止めの訴訟を起こすべきではないか。

埼玉県に対し、太駄地区を事業地とする産業廃棄物処分業の許可申請を行っているのは、株式会社本庄エコステーションという会社であります。この許可申請は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づいたものでございまして、平成22

ていないのが現状であります。

このため、今後も事業者に対しては、環境悪化が懸念されないような回答が得られるまで協議を求めて参り、また、産業廃棄物処分

## 聴覚検査で難聴

## ・認知症の 早期発見を

小暮ちえ子（公明党）

## 問

聴覚は加齢とともに衰えます。

老人性難聴と呼ばれる、高い音が聞きにくくなるのが特徴で、聞き違ひも多くなります。

聞こえが悪いことで、コミュニケーション不足が生じ、孤立や閉じこもりになる、このようなことが寝たきりや認知症を引き起こす一因になっていると聞きます。

聴覚の簡易検査で難聴や認知症を早期発見し、介護予防につなげる事が必要と考えます。

認知症の予防や早期発見について、市のお考えを伺います。

## 答

本市では、認知症予防に関する事業として「脳の健康教室」「認知症予防講演会」「認知症研修会」等を一次予防事業の中で実施しております。

次に、簡易聴覚検査器具の活用のお考え方についてご説明いたします。

市における聴覚検査の導入についてですが、現在、本市で行って

業の許可権者である埼玉県に対しては、慎重な審査を行って頂くよう依頼を続け、太駄地区の生活環境が保全されるよう取り組んで参ります。

いる高齢者の生活機能を判断するための基本チェックリストは25項目からなっており、ここでは運動や口腔・栄養をはじめ、閉じこもりや認知症・うつに関する基本的なチェック項目について調査を行っております。

聴覚の状態を確認するための簡易聴覚検査器具を使つての難聴や認知症の早期発見についてですが、老人性難聴は、聴神経細胞の老化、あるいは変性によるものが多いと言われております。

これに対し認知症では、様々な要因によつて脳の萎縮が起こることによつて、記憶や学習・判断等に関する脳機能が低下すると言われております。前述のとおり難聴が老化によるものなのか、また、認知症によるものなのかを、この器具による検査結果だけで判断することは難しいため、先進事例等からの情報収集を行いながら、活用方法について研究を行つて参りたいと考えます。

## 観光行政への提言

穂田 平一郎（市議団未来）

### 問

近年、新たに整備されつつある「稲沢ハイキングコース」や「瑠璃ぼたん園」などへの今後の支援・取組みをお聞かせください。また、本市の観光施設が各々離れていることから、駅、近辺にサイクリング・ターミナルを設置し、電動アシスト自転車の利用を進めては如何でしょうか。

「風を感じる街」「市民が元氣な街」「健康に良い街」への色々な取り組みが考えられると思いますが、市長の考えを伺います。

### 答

「稲沢ハイキングコース」「瑠璃ぼたん園」とも、ボランティア団体の会員の皆様、企画から開設に至るまで、ご尽力され整備されたものであり、また、トイレ、駐車場等につきましても関係者や地元住民のご協力により

提供されております。

例えば、仮設トイレ等を市が設置する場合でございますが、恒久的となりますと、土地の問題や定期清掃、汲み取り等の維持管理などの課題もありますので、ボランティア団体、地元自治会、地元住民の皆様との協議も必要であり、また、本庄市観光協会にも働きかけていくことが必要と考えております。なお、ボランティア団体や地域の皆様、自ら観光資源をつくり、育てておられることは、本市の観光のあり方のひとつと考えており、こうした市民レベルの活動に対し、協働という観点から、市としてどういう支援が出来るか、今後更に検討してまいりたいと考えております。

次に電動アシスト付自転車について、本市には多くの観光資源がございますが、鉄道駅を起点として、点在する観光地を訪れる場合、バス、タクシー、徒歩が主な手段となります。

そこで、交通手段の選択肢のひとつとして、駅周辺などにおける電動アシスト付自転車を含めたレンタサイクルの整備が進むことも必要であると考えております。

## 「合併特例債」について

田中 輝好（市議団 大地）

### 問

先の議会で、「公共施設の見直しについて」に対して、「合併特例債の期限である平成27年度までに真に必要とされる事業の財源として適切であるか、また、その借入に係る償還等を考慮した財政状況等は持続可能なものなのかなどを考慮しながら、効果的、戦略的な活用を図っていく」が必要と考えております。」との答弁でしたが、現状ではどのようなになっているのか。

### 答

合併特例債を活用する対象事業について、まず、これまでの主な実績ですが、小中学校の耐震補強工事又は建替え、本庄早稲田駅周辺整備、防災行政無線整備、道路整備などの事業に計画的に利用してまいりました。また、合併特例債をこれから活用する主な事業につきましては、まず、東日本大震災の影響を受けて使用を禁止し、現在、解体工事中の市民プラザの跡地に予定している複合施設の建設と、建築後50年が経過し老朽化の著しい児玉総合支所の建替えを、起債期限であります平成27年度までの完成を目指し、検討に入っております。今後の事業予定といたしましては、今年12

月から平成24年度末までの1年4カ月間を設計業務期間とし、平成25年度には、工事に着手したいと考えております。市民プラザ跡地に建設する施設や児玉総合支所の建替えの他に、これから合併特例債を活用する建設事業の主なものとしては、小中学校の耐震補強事業、本庄東中学校建設事業、道路改良事業及び公園整備事業などが予定されております。合併特例債は、市にとりまして、条件として

有利な地方債ではあります。地方債であることには変わりありません。真に必要なとされる事業の財

## 本庄市の地域防災について

飯塚 俊彦（市議団 大地）

### 問

本年、8月31日からの台風12号による豪雨により市内随所で被害が出てしまいました。奈良県・北山村では8月30日から1週間で2439ミリの降雨量を記録しました。昨今の異常気象は時を待たずにやってきます。

本庄市でも今回の豪雨により藤田・旭地区などの用水路や元山川が溢れ、農作物や住宅への浸水

## （放射線被害含む）

被害、土砂崩れも発生しましたが、その被害状況と今後の対処、雨水の排水経路はどうなっているのですか。また、避難情報的確な発信や対応はなされたのですか。

### 答

被害状況でございますが、住宅等の床上浸水が14件、床下浸水51件で、土砂流出が9件でございます。本庄地域においては主に銀座地区、若泉地区、その



マリーゴールドの丘より本庄早稲田駅周辺を望む

他元小山川、女堀川、御陣場川沿線各地で冠水しました。児玉地域は金屋、下町、女堀川沿線各地で冠水いたしました。さらに、児玉町元田で土砂崩れがございました。なお、児玉町高閑地内の女堀川にかかる「井呑坊橋」が崩落いたしました。次に、農業被害は、大きな被害を受けた作物は「ハウス栽培のキュウリ」と露地物の「プロッコー・ネギ・やまのいも」の4品目でございます。次に、本庄地域の雨水排水経路は、市内の北側の大部分は元小山川を経て、小

山川へ合流し、市内の南側は女堀川や男堀川を経て、小山川に合流し、最終的には利根川へ流れております。また、児玉地域の雨水排水経路は、4路線は女堀川へ流れ、5路線は小山川へ流れ最終的には本庄地域と同じ利根川へ流れております。避難勧告及び避難準備情報等が出た場合、市民の皆様への周知徹底につきましては、地元住民の方に対し自治会を通じ、また要援護者の方には災害時要援護者避難支援制度により、民生児童委員を通じ、災害情報の提供や避難の実施をお伝えいたしました。

## 旧児玉町水道事業第6次拡張と民間業者への支援について

町田 美津子（政友倶楽部）

**問**

旧児玉町は、町の第6次水道計画で、うめみの工業団地造成と開発中止のゴルフ場（双園ゴルフクラブ児玉コース造成）と宮内・保木野等の居住地域と3ヶ所の異なる場所へ一体的に同時に水道設備を完備いたしました。私の他市への調査では、ゴルフ場の開発（民間）は基本的に事業者の負担で整備することであり、市の支援はないとのこと。旧児玉町の第6次水道計画の総工事費と3ヶ所の個別の工事費の金額を示し、2ヶ所の業者との契約内容の説明をお願いします。

**答**

「うめみの工業団地」の水道設備の整備につきましては、周辺の公道まで旧児玉町水道事業第6次拡張において整備し、工業団地内の水道設備の整備につきましては、民間業者により整備されております。工事費は第6次拡張工事全体で、約21億5千万円の費用がかかっております。主な整備の内容につきましては、水源井1ヶ所、配水池1ヶ所を新設いたしました。また、埼玉県営水道から受水するため、下真下受水場の改修も併せて行いました。次に、児玉の開発中止のゴルフ



台風12号の影響を受け、崩落した井呑坊橋

場開発に関する水道設備につきましては、先ほどの「うめみの工業団地」と同じ旧児玉町水道事業第6次拡張において、ゴルフ場予定地周辺を整備したものです。ゴルフ場予定地内の水道設備につきましては、民間業者が整備することになっております。先ほどの「うめみの工業団地」の件で総事業費21億5千万円の費用がかかっており、旧児玉町水道事業第6次拡張事業全体の工事費でございます。次に旧児玉町と業者の間ではどのような契約が取り交わされたのかとのことですが、これは開発許可の案件ですので、開発を行う前提として、道路、公園、調整池等の協議は行っておりますが、特段の契約は行っておりません。

## その他の質問

9月定例会の一般質問で、紙面の都合上、掲載できなかったものは、次のとおりです。

**中原 則雄**

・障がい者福祉について  
・空き家対策について

**高橋 和美**

・公立保育所の臨時保育士の処遇について  
・公立保育所の民営化について

**林 富司**

・本庄市の高齢者福祉の現状と対策について  
・本庄市の文化財保護の取り組みについて

**小林 猛**

・市道1級23号線について  
・総検校塙保己一先生の件について

**堀口伊代子**

・市税及び料金等の収納について

**柿沼 綾子**

・成年後見制度について  
・子ども医療費の無料化の拡大について

**鈴木 常夫**

・長期化する原発事故による放射線被害への対策について  
・災害対策について

**小暮ちえ子**

・高齢者福祉について  
・障がい者福祉について

**榎田平一郎**

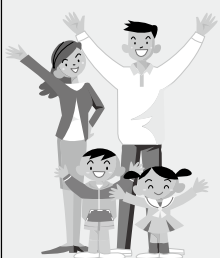
・安全・安心の生活環境整備  
・長寿社会への取り組み

**田中 輝好**

・子ども（未就学者及び児童生徒）の口腔ケアについて

**町田美津子**

・児玉町太駄地区の環境保全対策について  
・県立児玉高等学校北側の大規模高架道路について（八幡山通線について）



## 議員提出議案

9月定例会では、議員から次の1議案が提出され、原案のとおり可決しました。なお、可決した決議書は、関係行政庁等へ提出しました。

### ◆米政府に対し三度の未臨界核実験に抗議するとともに今後行わないことを求める決議（抜粋）

7月19日、米国エネルギー省（核安全保障局）が、昨年12月と今年2月の2回に渡り、未臨界核実験を強行していたことが明らかになりました。米政府は昨年9月15日に未臨界核実験をおこない、11月および今年3月にも世界に隠れて新たな形態での核実験を強行しました。被爆国日本国民の願いを踏みにじる行為に強く抗議するものです。

米政府は、未臨界核実験の目的について、保有する核兵器の信頼性と実効性を維持するためと主張しています。しかし核兵器の実験は、たとえそれが核爆発を伴わないものであっても、核兵器の保有や配備を継続し、使用に備えるものであり、2009年4月、オバマ大統領がブラハで約束した「核兵器のない世界を追求する」との目標に逆行するものです。

核兵器のない世界の実現は、核兵器を禁止してこそ可能になります。米政府がいつさいの核実験、核開発計画を放棄し、核兵器全面禁止条約の実現のためにただちに努力を始めるよう、強く求めるものです。以上、決議する。

## ◆◆インフォメーション◆◆

### 会議録を一般公開しています

○議案の審議等、詳しくお知りになりたい方は、会議録が閲覧できますのでご覧ください。図書館、公民館、市議会ホームページにてご覧いただけます。

#### ★会議録検索のアドレス

<http://www.kaigiroku.net/kensaku/honjo/honjo.html>

### 一般質問の議会中継を行っています

○市議会定例会一般質問の録画配信をインターネットで行っています。市議会のホームページからアクセスしていただき、ご覧ください。また、本庄ケーブルテレビでは、生中継・録画中継を実施しています。

#### ★一般質問録画配信のアドレス

<http://www.discussvision.net/honjosi/index.html>



（豊後高田市）  
中心市街地の活性化について  
（八代市）  
中心市街地の活性化について  
（鹿児島市）  
中心市街地の活性化について  
（鹿兒島市）  
遊休農地バンク制度について  
建設産業委員会（8月22日）  
運営と課題について（米子市）  
指定管理者制度導入施設の管理  
（松江市）  
食糧・飲料水及び生活必需品等の確保・供給体制の整備について  
（雲市）  
自主防災組織の育成について（出雲市）

### 先進地の行政視察

総務委員会及び建設産業委員会の両委員会は、それぞれの行政課題について調査研究のため行政視察を行いました。

視察後、総務委員会及び建設産業委員会は、9月定例会において議長へ調査報告書を提出しました。期日・調査事項・視察先は、次のとおりです。

#### 総務委員会（8月8日～10日）

自主防災組織の育成について（出雲市）

### 常任委員会

9月定例会で閉会中の継続審査とした『平成22年度本庄市一般会計歳入歳出決算認定について』ほか、10件の決算認定議案について、10月24日及び25日に総務委員会と建設産業委員会、10月26日及び27日に厚生文教委員会を開催しました。

審査結果については、12月定例会本会議において各委員長から報告され、最終的な審議がなされる予定です。

### 12月定例会の予定

|           |        |      |
|-----------|--------|------|
| 11月29日（火） | 10：00～ | 議案説明 |
| 11月30日（水） | 10：00～ | 議案質疑 |
| 12月14日（水） | 9：30～  | 一般質問 |
| 12月15日（木） | 9：30～  | 一般質問 |
| 12月16日（金） | 9：30～  | 一般質問 |
| 12月20日（火） | 10：00～ | 議案採決 |

※本会議の日程は、議事の都合により変更になることがあります。

## 議会閉会中のべりや

### 編集後記

#### 後記

東北地方太平洋沖地震の発生から半年が経とうとしている時、9月に上陸した台風の大雨によって、安全安心と言われている本庄市も多大な被害が出てしまいました。

本庄市では、幸いにも命を奪われた方はおりませんでした。が、いつこのような天災が起きるかわかりません。今後、二度とこのような天災が起きないように祈るばかりです。

表紙写真のように元気に子どもたちが、今後とも、のびのびと運動でき、平和で暮らせるように、より良い街づくりに向けて市議会としても微力ながら力を合わせて、頑張りたいと思います。

委員長 早野 綾子  
副委員長 伊代 ちえ子  
委員 堀口 暮子  
委員 富田 雅子  
委員 清水 達夫  
副議長 柿木 光二  
議長 沼村 光男